

東京キリスト教学園 ボランティアセンター活動報告vol.17



2017/2/発行

■いつもお祈り感謝いたします。

〈冬休みボランティアキャンプの報告〉

昨年末、TCUボランティアセンターでは、東日本大震災復興支援のため、5名の学生(吉橋雄介、長谷部将希、遠田ゆりな、田中路乃、本間春奈)を東北の地に派遣しました。今回のボランティア活動の内容は、震災直後からTCUボランティアセンターが関わり続けている、日本キリスト改革派 東仙台教会の主催する「東仙台子どもキャンプ」のスタッフをすることでした。今回は、「錦秋湖バイブルキャンプ場」を会場とし、降り積もる雪の中、被災地の子どもたちと共に2泊3日のキャンプに参加してきました。ボランティア中、子どもたちと共にすごし、関わり、子どもたちと一緒に雪遊びをする時間は、大人である私たちにとても楽しいひと時でした。

東日本大震災が起きた当初、今回関わった子どもたちは小学校低学年、あるいは幼稚園児でした。ですが、たしかに震災による大きな傷を受けており、今でもなお心の奥底には癒えていない痛みを抱えていることを、子どもたちと関わることによって感じることができました。

目に見える部分では、震災当時と比べるとかなり復興は進んだと言えるでしょう。しかし、目にみえない部分では、まだまだ復興のための支援が必要です。私自身、これからも被災地のために覚え、祈り、関わり続けていきたいと、改めて思われました。

神学科3年 吉橋雄介



←キャンプの様子



〈今年度を振り返って〉

2011年に起こった東日本大震災をきっかけに立ち上がった「TCUボランティアセンター」は、もうすぐ6年目を迎えようとしています。私たちは、東日本大震災以降も継続して東北のための支援活動を行ってきました。今年度は、春夏秋冬合わせて計6回、学生を東北の被災地へ派遣し、支援活動を行いました。また、4月に起きた熊本大地震をうけ、学内では祈り会を開き、献金を募り、5月には現地へ学生を派遣し、支援活動を行いました。被災地を覚え祈ることは、とても大切なことですが、実際に被災地に行き、メディアを通してではなく、実際に災害の爪痕を見て、感じて、現地の人々と関わることは、私たちの祈りをより具体的にすることができます。今年度、多くの学生を被災地へ派遣することができたのは、とても良かったと思います。来年度も、被災地の必要を覚え、祈り、必要に応じて多くの学生を派遣し、学生と共に被災地の復興に関わっていきたくて願います。

今年度は、4月からTCUボランティアセンターのリーダーが変わり、新しい体制での活動でした。リーダーである私自身、不安を覚えつつ、手探りしながら、メンバーと共に活動してきました。また、TCUボランティアセンターの働きは、神様の守りと共に、多くの方の祈りと献金のサポートがあって成り立っています。これまで、私たちの働きを覚え、サポートしていただき感謝しています。引き続き、TCUボランティアセンターの働きを覚え、被災地を覚え、お祈りしていただけたら幸いです。

ボランティアセンターリーダー 神学科3年 吉橋雄介

〈新ボランティアセンターリーダーズ〉

今年度3月をもって、鈴木美津子(院2年)、嶋田健治(4年)、赤羽根美希(4年)がTCUを卒業し、4月からは新しいメンバーでの活動となります。これまでの尊い働きに感謝します。

* 新リーダーズ *

吉橋雄介(リーダー・3年)
マクドエルデービッド(3年)
泉ユリエ(1年)
遠田ゆりな(1年)

これからの活動のため、新しいメンバーのためにも、引き続きお祈りください。